



[発行] 中央区議会
中央区築地一丁目1番1号
[電話] 3543-0211(大代表)
[中央区議会ホームページ]
<https://www.kugikai.city.chuo.lg.jp/>

ちゅうおう —Chuo City Assembly—

区議会だより

第1回定例会



令和2年(2020年)
No. 244



令和2年度各会計予算を可決

総額は1,433億546万円で、前年度当初予算に比べ12.4%、157億8,941万4千円の増額となりました。(6・7面)

「新型コロナウイルス感染症への対策を求める意見書」を提出

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るとともに、国民の健康と生活を守るために、政府に対し早急な対策を求める意見書を提出しました。(8面)

麗らかな春空～江戸桜通り

主な内容

- 一般質問
..... 2面～4面
- 委員会の活動
- 請願
..... 5面
- 予算特別委員会のあらまし
..... 6面～7面
- 議案等の審議結果
- 意見書(要旨)
..... 8面

第1回定例会の経過

- 2月28日 本会議
- 3月2・3日 本会議
- 4日 企画総務委員会
- 5日 区民文教委員会
福祉保健委員会
- 6日 本会議
- 9日 企画総務委員会
環境建設委員会
- 10～25日 予算特別委員会
- 30日 本会議

提出された議案等

- ◆区長提出議案
 - ・条例..... 18件
 - ・予算..... 8件
 - ・契約..... 1件
 - ・任命同意..... 1件
 - ・その他..... 4件
- ◆議員提出議案
 - ・意見書..... 2件
- ◆その他
 - ・人権擁護委員の推薦..... 1件

一般質問の要旨

一般質問とは
区の仕事全般について、区長等に報告や説明を求めることです。



あたらしい中央
青木 かの

BRTの「定時性・速達性」の確保について

問 昨年8月の都市計画審議会において、BRTの優先施策について質問したところ、環状2号線の本線開通後、往復4車線になってもBRTの専有または優先ルートは作らないとの回答だった。定時性・速達性を確保できなければBRTと呼べないのでは。なぜ東京BRTは後退してしまったのか。

答 本線開通後の本格運行時に、簡便な運賃の支払い方法等による停車時間の短縮や、交差点で車両の通過を優先させる公共車両優先システムの導入を図り、速達性、定時性を確保する。また、状況に応じて便数や系統数を増やした運行を実施する予定。これにより、新たな輸送システムとして、開発が進む月島地域を含めた臨海地域での交通需要に対応する。

「臨海地域地下鉄構想」と「環状3号線の延伸」の同時進行策について

問 都市計画道路の整備方針第4次事業化計画において、勝どきと港区の芝を海底トンネルでつなぐ路線が優先整備路線として挙げられている。この延伸計画は2016年の東京オリンピック・パラリンピックの招致のため都が計画し、基礎調査も終わっていると聞いている。BRTのルートとして使えば、勝どきから芝、JR浜松町駅まで5分でつなぐことが可能。環状2号線も晴海通りも使わないため、渋滞緩和策の一つとして有効である。区が臨海部地下鉄の整備とともに後押しすべきと考えるが、区の考えを問う。

答 環状第3号線の未整備区間について、具体的な協議は進展していない。整備には、用地取得や大規模なトンネル工事が必要となり、実現までには相当の時間を要すると認識している。しかし、路線上でのボトルネックの一つとなっていた新島橋の拡幅工事が、区の事業により本年6月に完了することから、都市計画道路の整備は着実に進んでいる。今後も、都が整備する未整備区間について都の動向を注視していく。



日本共産党中央区議会議員団
小栗 智恵子

区長所信表明における環境対策について

問 温室効果ガス排出量をどう減らしていくのか真剣に考え、環境への負荷の大きい大規模再開発優先のまちづくりを見直すべき時期にきていると考えるがどうか。

答 大規模開発は、都市のコンパクト化が図られることや、最新の省エネ機器等の導入、再生エネルギーの活用、地域冷暖房の構築などの取り組みにより、都市全体の温室効果ガス排出量の削減に寄与するものとする。

新型コロナウイルス感染症対策について

問 区内の外来・入院など医療機関の受け入れ体制や、介護施設での対応はどうなっているか。また、感染患者を受け入れるベッドはどれくらい確保されているか。

答 国の通知により、医療体制については各都道府県に設置した「帰国者・接触者外来」において対応する。介護施設については、家族等の面会の自粛や、職員・利用者の発熱時の対応について通知するなど、感染防止対策を徹底。

図書館の指定管理者制度導入について

問 なぜ指定管理者制度を導入するのか。

答 特別区の図書館の約半数が指定管理者を導入、利用者満足度も高く、実績も良好。全国的には導入から15年が経過し、図書館の指定管理を担える事業者が育っている。

問 貴重な資料を守り、豊富な知識と経験で利用者の声に応える図書館職員の力を活かすためにも、地域資料室だけでなく、本の森ちゅうおうを含む図書館全体をこれからも区直営で管理運営し、さらなる充実を求めるがどうか。

答 指定管理者制度の導入に当たっては、施設管理やレファレンスなどの業務は指定管理者が行い、教育委員会が直接行う業務との役割分担を明確にして実施していく。

その他質問事項 ①消費増税と景気対策について ②全世代型社会保障改革について ③国民健康保険料の改定と財政健全化について ④築地市場跡地のまちづくりについて ⑤首都高地下化等都市基盤整備基金について ⑥羽田新飛行ルートの撤回について



中央区議会自由民主党議員団
海老原 崇智

区長所信表明について

問 山本区長が表明した「心」と「心」が通い合うまちは、基本構想、基本計画の中でどのような華を咲かせるのか。方向性は。

答 「基本構想」「基本計画2018」では、「プロアクティブ・コミュニティ」を掲げ、地域の課題解決に向けて自ら行動することを区として後押ししている。私の掲げる「ハートオブ東京 中央区」に込めた思いを土台に置きながら、区の施策を進めるに当たっては、「誰もが明るく安心して暮らせるまち」「活気を持って働くことができるまち」の実現を目指す。

区役所本庁舎の整備について

問 (1)整備検討委員会の開催延期の理由は。(2)まちづくりの動向が整備案の策定に与える影響は。(3)次回の検討委員会の開催時期と今後の検討内容は。(4)検討委員会の開催延期による建設候補地の一つである八丁堀三丁目地区の再開発の影響は。

答 (1)建設工事費や移転整備に係る保留床の価格など、整備費の算定基礎が定まらないため。(2)現在検討されている首都高都心環状ルートの地下化が現在地での整備に影響を与える可能性がある。(3)首都高都心環状線の整備事業が本庁舎整備に与える影響が明らかになった時点で速やかに再開する。この間、整備費などの諸条件の精査や施設規模の最適化に向けた内部的な検討を行っていく。(4)再開発で整備する施設計画等の検討が遅れるおそれがあるが、合意形成や関係機関との協議を先行的に行い、影響を最小限に抑えながら検討を進めていく。

(次ページへつづく)

新型コロナウイルス対策について

問 (1)本区への対応、(2)臨時休校要請を受けた小中学校への対応と、休校となった場合の児童・生徒の居場所について、(3)区内事業者への経済的支援について、それぞれ見解は。

答 (1)対策本部を設置し、情報提供や相談業務、小中学校等における対応など各種対策を実施。(2)政府の要請を受け、臨時休校とした。児童・生徒の居場所については、各家庭での対応をお願いしているが、養育が困難な場合は各校でお預かりしている。(3)国や都などの動向を踏まえ、区内中小企業の経営の安定に資する支援策を講じていく。

ウミネコ被害の取り組みについて

問 ホームページでの注意喚起、専門家派遣の助成の検討につい

て見解は。

答 必要に応じて職員が現場を確認し、建物管理者に防除方法の説明や専門業者の紹介を行っている。また、繁殖が始まる前の3月下旬に、生態や簡易的な防除策などをホームページに掲載するよう準備を進めている。

日本橋首都高地下化等と昭和通り 首都高撤去について

問 首都高速道路地下化等都市基盤整備基金の創設が予定されているが、その経緯と今後の見通しは。

答 本基金は、国の「首都高日本橋地下化検討会」における概算事業費や事業スキームを踏まえて必要な資金を積み立てるもの。日本橋首都高地下化事業の原資とするほか、日本橋川周辺のまちづくりに加え、本区の将来を担う重要な都市基盤整備に対する原資としても活用を検討していく。



中央区議会自由民主党議員団
かみや 俊宏

地域振興施策の新たな展開を問う

問 既存コミュニティへの新たな支援として、SNS利活用支援や町会・自治会ネットの機能見直し等を行っては。

答 SNSは利用促進を図るためアドバイザー派遣を検討する。町会・自治会ネットは、区が積極的に更新作業を支援するほか、更新時期を捉え、内容や機能の充実に努める。

問 ここ20年、地区委員会への支援額の予算が減少しているが、青少年の健全育成をさらに推進すべきでは。

答 今年度、改めて活動の実態に即した補助金の見直しに取り組んでいる。今後も、補助対象事業の規模なども考慮した補助制度のあり方を引き続き検討していく。

日本橋東部地域・隅田川テラス等の 活性化を問う

問 浜町公園・グラウンドの改修や雨天時利用できないデイキャンプ場の増改築等、緑・スポーツ環境の充実に。

答 利用者やスポーツ団体などのニーズを的確に捉え、施設の整備・充実に努めていく。

問 八王子に眠る昭和51年に発掘されたナウマンゾウの化石「浜町標本」を活用した地域活性化の取り組みを。

答 本区での展示は困難だが、「浜町標本」は大変貴重であり、ホームページでの紹介など活用方法を検討していく。

コロナウイルス等2020大会前後の 安全対策を問う

問 近年災害等が多くなってきており、自助・共助に加え、公助

の取り組みをハード・ソフトの両面からさらに推進を。

答 地域防災計画の修正や災害情報一斉送信システムの導入、防災拠点への蓄電池配備、防災マップアプリのチャット機能の整備等に着手し、公助の強化を積極的に図る。

条例制定を含めた受動喫煙防止対策を問う

問 民有地で発生が懸念される受動喫煙防止対策の指導をより一層充実すべきでは。

答 区営公衆喫煙場所の設置や事業者への助成などにより分煙環境を確保するほか、巡回パトロール増強により民有地や路上における受動喫煙対策の強化を図る。

問 受動喫煙防止を主目的とする新たな条例の制定を。

答 喫煙場所に近接する路上で受動喫煙による健康被害が生じやすい状況を改善するため、喫煙者や事業者が守るべきルールを条例化するなど、実効性のある対策を検討する。

子育て・教育環境の充実を問う

問 人口増加等、近年の環境変化を踏まえ、待機児童解消、保育の質向上に向けた取り組みをさらに推進すべきでは。

答 認可保育所の開設支援を中心に定員拡大を図り、早期の待機児童解消を目指す。また、保育の質向上を図るため、指導体制の充実・強化に向けた組織整備を行う。

問 スポーツ環境の充実や円滑な運動会の実施について、今後どのように議論・検討していく考えか。

答 達成感の持てる運動会を実施するために、実施場所、内容の工夫など、各校の実情に合わせ慎重に検討していく。

問 小中学校のICT環境整備について、これまでの取り組みの経緯を踏まえ、施策をさらに推進していくべきでは。

答 モデル校における検証結果を踏まえ、無線LANの整備、タブレット端末の導入、大型提示装置の設置を計画している。また、ICT支援員については、国の基準の約2倍にあたる各校、週に2回以上の巡回を予定している。



中央区議会公明党
中島 賢治

新型コロナウイルスについて

問 (1)私たちが予防としてできることは。(2)確実な情報はどこで入手できるのか。(3)風邪との判別がつかない場合はどうすればよいか。(4)地域かかりつけ医師の診察を受ける流れができないか。(5)感染症が落ち着く条件と期間は。

答 (1)手洗いの徹底や咳エチケット、不要不急の外出を控えるこ

と。(2)国や都のホームページで提供しているが、区でも区民に特に必要な情報を選択して迅速に周知している。(3)(4)かかりつけ医に連絡し、医師の指示に従うようお願いしている。感染の疑いが強い場合は、中央区保健所コールセンターで対応。(5)現在の感染者数より今後の感染者数が下回る状況が続くことが条件。現時点で収束の時期の明示は困難だが、感染者数の抑制と流行期間の短縮を目指す。

ひとり親家庭の支援について

問 (1)ひとり親住宅支援についての考えは。(2)ひとり親専用住宅の抽選で落ちたひとり親家庭と当選した家庭との公平性は。(3)ひとり親世帯の住宅費支援策について考えは。

答 (1)生活の基盤となる住まいの確保は重要と認識。区民住宅と(次ページへつづく)

は別にひとり親専用住宅を供給。(2)応募する方の住宅困窮の理由はさまざまであるため、区民住宅と同様に公募し、抽選により決定することで担保。(3)住宅資金や転宅資金の貸し付けなどの支援を行っており、限られた財源の中で住宅費助成の実施は困難。各種手当や就業支援、学習支援など自立に向けた総合的な支援の推進に努めていく。

森林環境譲与税について

問 受け口となる基金を設ける必要があるのでは。

答 会計上使途を明確にできる一方、譲与を受けた年度に活用できないデメリットもある。今後、譲与額が段階的に増加する見込みであり、新たな使い道や事業規模によっては、既存の「森とみどりの基金」も含め基金の活用を検討。

問 区内の公共施設に国産材木を使うべきでは。また、新設の小中学校の机と椅子なども木質化にすることができないか。

答 「東京都公共建築物等における多摩産材利用推進方針」に基づき、内装材や工事で整備する家具等への使用に努めている。また、「中央区の森」の間伐材活用を進めており、豊海小学校の図書室の家具などに使用している。「本の森ちゅうおう」や晴海地区に今後整備される施設についても使用を積極的に進めていく。

問 都市部としての緑の拡大と国産材木の需要拡大を図る必要があるのでは。

答 公園や水辺などの緑化整備や民間施設の緑化支援など、緑の拡大・充実を図ってきた。今後も各種開発の機会をとらえ、都市の緑化の拡大に努めていく。また、檜原村の針葉樹を使用し商品化された合板は、今後の区有施設の整備に使用するとともに、周知に努めていく。さらに、国産材の区内の需要拡大に向けて積極的に検討を進めていく。

その他質問事項 ①選択的夫婦別姓について ②性的マイノリティについて ③持続可能な開発目標について ④東京オリンピック・パラリンピックについて



立憲民主党新風会

渡部 恵子

中央区が目指すSDGsに合うまちづくり

問 「都心にふさわしい魅力ある都市基盤づくり」のため、江戸からのエコロジーを継承し、サステナブルスマートシティとして、MICE*機能も備えた今後の大規模かつ長期的な開発による排出二酸化炭素量の抑制策は。

答 開発における二酸化炭素排出量の抑制策として、計画段階から「中央区まちづくり基本条例」や、「中央区市街地開発事業指導要綱」に基づく熱負荷の低減などの指導、公共施設での再生可能エネルギーの活用などを進めている。

災害に強いまちづくりについて

問 地震発災後、1時間から2時間ほどの間、役員が参集できず防災拠点の開設ができないか、もしくは遅れることにより、避難所に来た区民が入れず混乱が想定されるが、解決策は。

答 本区では、区内居住者および近隣区に居住する職員を臨時非常配備職員として指定し、一防災拠点あたり約8名の職員が、発

災後、速やかに避難所の開設に向かうこととしており、十分対応できるものとする。

問 防災拠点において、初日24時間以内にできるだけ衛生状態を整え、不満や不安の蔓延を回避するとともに、家族等との連絡手段として携帯電話使用のための電源の確保が必要。拠点におけるライフラインの充実についてソフト面・ハード面から区の考えは。

答 衛生環境を保持しながら、避難生活を送るうえで必要な電力の確保が重要。現在、全拠点にガソリン式発電機およびガスパワー発電機を3日分の燃料とともに備蓄、さらにポータブル蓄電池を新年度に配備予定。なお、連絡手段確保のため、スマートフォンの充電器を備蓄しているほか、停電の影響を受けない特設公衆電話を配備している。

地域コミュニティのあり方について

問 「住み続けられるまち」という視点に立ち、誰でも通える「地域クラブ」を作ることは、これから先の人口増加と、その後のリタイア世代の増加が始まる本区に、新しいコミュニティが広がると思うが、区の考えは。

答 幅広い年齢層と多様な目的に対応できる施設は必要。特に今後短期間で多くの方が転入される晴海地区においては、改修後の「ほっとプラザはるみ」が地域コミュニティの核となるよう、趣味を通じたコミュニケーションを育む場や健康増進の場などの整備を検討している。

その他質問事項 中央区ウォーキングマップの活用について



維新の会

しらす 夏

高齢者の方が生活しやすいまちづくりについて

問 日常の買い物が困難な状況に置かれている高齢者の方について(1)どのように状況を把握しているか。(2)しっかりと手を差し伸べることはできているか、その支援策は。

答 (1)昨年の高齢者実態調査では、必要と感じる支援のうち買い物は、9.3%。(2)ケアプランに基づく訪問介護サービスや「虹のサー

ビス」において買い物支援を実施。

問 孤独死の現状と孤独死防止対策のさらなる充実について本区の見解は。

答 一人暮らし等の高齢者の実態調査を毎年実施し、地域団体等による見守り体制の充実に取り組んでいる。今後もこれらに加え、「通いの場」の拡大や支援等に取り組んでいく。

問 できるだけ長く健やかに過ごすことができるよう、健康寿命延伸に向けた取り組みの充実策は。

答 高齢者が地域の中で役割を担い活躍する場を広げることが大切。本年度「セカンドライフ応援セミナー」で、活動の場の紹介と担い手となるきっかけづくりを行った。今後も高齢者の社会参加の促進等、施策の充実に取り組む。

その他質問事項 ①災害に備えての中央区強靱化策について ②中央区における教育の質向上について

※「MICE」とは？

MICEとは、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

区議会だよりはアプリでも！

区議会だよりは、スマートフォン用アプリ「マチイロ」で配信を行っています。

利用方法 QRコードからダウンロードし、「お住まいの地域」を「東京都中央区」に設定してください。



予算特別委員

予算特別委員会の設置

予算特別委員会は、3月6日の本会議において委員16名をもって設置され、令和2年度中央区一般会計予算、令和2年度中央区国民健康保険事業会計予算、令和2年度中央区介護保険事業会計予算、令和2年度中央区後期高齢者医療会計予算のそれぞれの審査について付託を受けました。

本会議散会后、議長招集による初の委員会が開会され、本委員会の構成が行われました。

予算特別委員会委員

【◎委員長 ○副委員長】

◎木村 克一 (自由民主党)	堀田 弥生 (公明党)
○塚田 秀伸 (自由民主党)	渡部 恵子 (新風会)
中嶋ひろあき (自由民主党)	梶谷 優香 (新風会)
磯野 忠 (自由民主党)	高橋 元気 (あたらしい中央)
田中 耕太郎 (自由民主党)	小栗 智恵子 (日本共産党)
海老原 崇智 (自由民主党)	山本 理恵 (無所属)
竹内 幸美 (自由民主党)	原田 賢一 (新青会)
墨谷 浩一 (公明党)	しらす 夏 (維新の会)

令和2年度各会計の当初予算額と概要

令和2年度各会計の当初予算額

(単位：千円)

会計区分	令和2年度	令和元年度	増減率
一般会計	118,374,610	103,132,749	14.8%
国民健康保険事業会計	13,127,052	13,105,904	0.2%
介護保険事業会計	8,766,095	8,456,451	3.7%
後期高齢者医療会計	3,037,703	2,820,942	7.7%
合計	143,305,460	127,516,046	12.4%

一般会計予算は1,183億7,461万円で、前年度当初予算1,031億3,274万9千円に比べ152億4,186万1千円、14.8%の増で、2年連続の増加となりました。

また、歳出総額から公債費を除いた、いわゆる政策的経費である一般歳出についても14.8%の増となります。

前年度予算に比べ増となった主な要因は、常盤小学校(別館)の整備(15億円減)の皆減などがあるものの、市街地再開発事業助成(104億円増)やいきいき桜川(桜川敬老館)の改築等(18億円増)、子ども・子育て支援給付(11億円増)の増、住民情報システムの更新(9億円増)の皆増などによります。

国民健康保険事業会計予算は131億2,705万2千円で、保険給付

費などが減となったものの、住民情報システム(国民健康保険)の更新の皆増などにより、前年度当初予算に比べ2,114万8千円、0.2%の増となっています。

介護保険事業会計予算は87億6,609万5千円で、介護保険給付準備基金への積立金などが減となったものの、居宅介護サービス等給付費などの保険給付費の増により、前年度当初予算に比べ3億964万4千円、3.7%の増となっています。

後期高齢者医療会計予算は30億3,770万3千円で、保険料等負担金などの広域連合納付金の増などにより、前年度当初予算に比べ2億1,676万1千円、7.7%の増となっています。

一般会計予算に対

中央区議会自由民主党議員団

賛成

- ◆時代の局面とそれにまつわる様々な課題に正面から取り組み、解決を図るべく編成した予算であると評価。
- ◆新型コロナウイルス感染症、受動喫煙、緊急融資等の電話や窓口をはじめ現場での対応に精励する職員へのケアを。
- ◆五輪の延期決定を受けて、関連予算執行の判断は、時期を見極める、ないし減額補正も視野に入れた柔軟な対応を。

日本共産党中央区議会議員団

反対

- ◆再開発優先のまちづくりを見直し、CO₂削減に責任を持つこと。大企業に有利な開発を進めていく予算案は問題。
- ◆福祉の施策は、施設も足りない、人員の配置も十分に進んでいない。もっと予算を投入して充実させることが必要。
- ◆国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険は、保険料や利用料・窓口負担の軽減を。

中央区議会公明党

賛成

- ◆人口増に伴い、行政需要も拡大の一步。中長期的展望による基金取崩しと区債発行で、将来的に安定的財政運営を。
- ◆東京2020大会とその後のまちづくりに向けた予算。待機児童対策や児童・生徒のパラリンピック観戦、グリーンインフラガイドライン策定等緑豊かなまちづくりに期待。
- ◆新型コロナ対策は、区民を守るため全庁あげて取り組みを。

無所属

賛成

- ◆人口増加に伴う特別区民税の伸びが期待できる一方、国による税源偏在是正措置や、コロナウイルスの大流行、東京2020大会の開催延期による財政的影響を懸念。新たな政策課題に果敢に挑戦し区民の信頼と期待に応えることを望む。

会のあらまし



▲予算特別委員会（3月10日撮影）

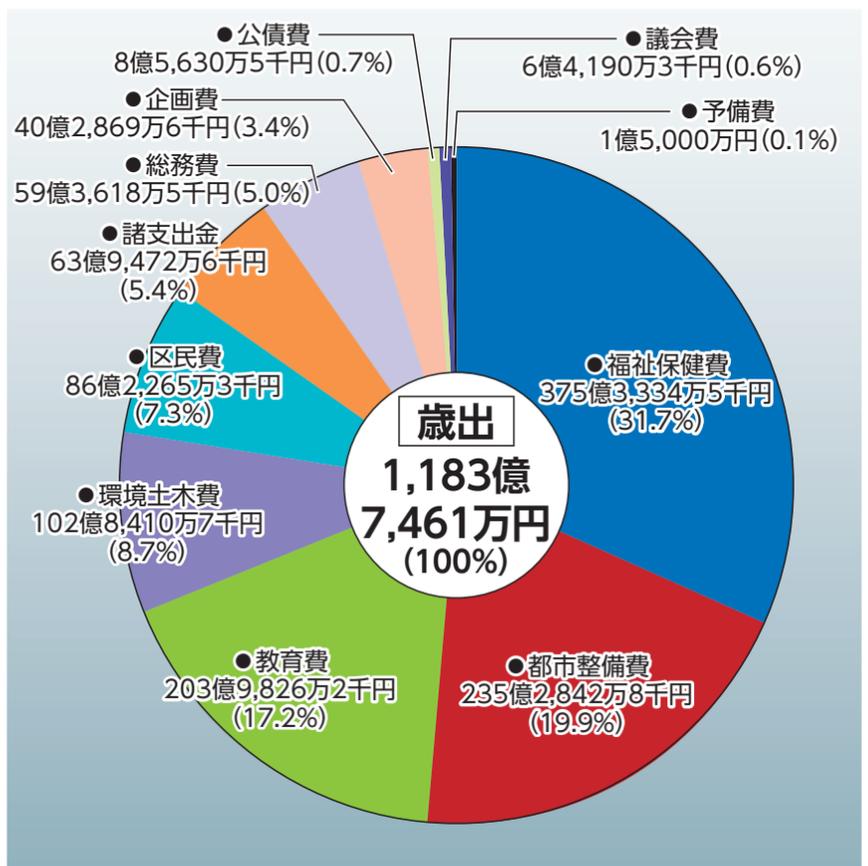
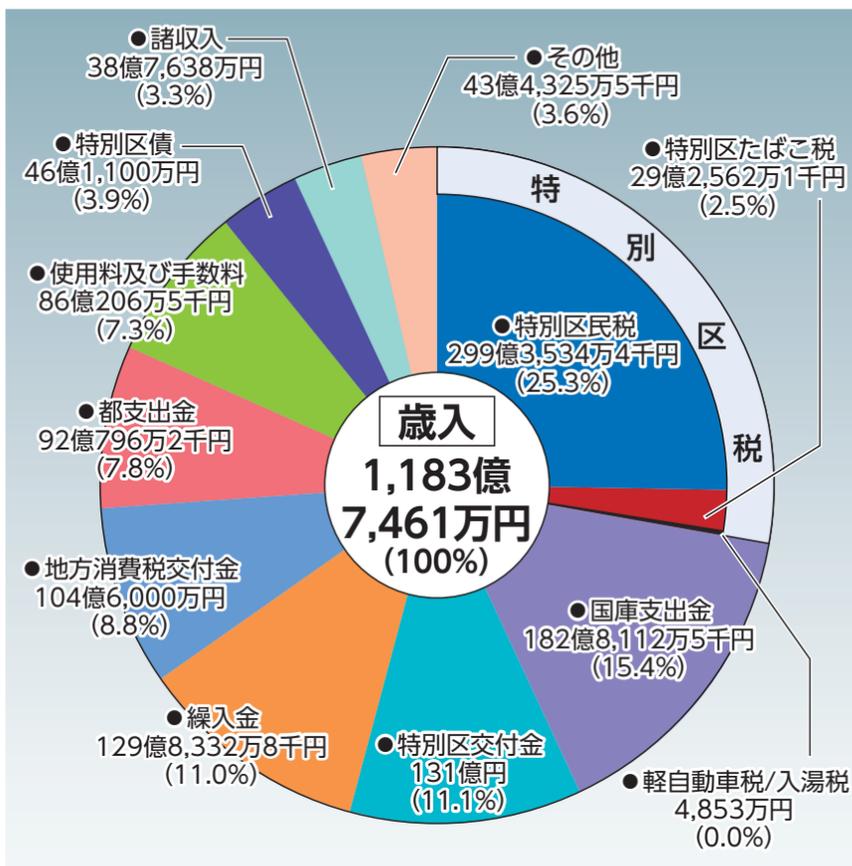
審査の概要

本委員会は、令和2年度における本区行政運営の大綱をなし、その方針を決定する本予算案に対し、現下の社会経済情勢を踏まえつつ、区民の信託に応えるため、3月6日の本会議での付託以来、延べ11日間にわたり、慎重に審査を行いました。

3月10日から、まず一般会計歳入予算より、一括して質疑を開始し、次に一般会計歳出予算、さらに国民健康保険事業会計歳入歳出予算、介護保険事業会計歳入歳出予算、後期高齢者医療会計歳入歳出予算について一括して質疑を行い、3月25日には全ての審査を終了しました。

これに伴い、各会派の態度表明が行われ、最後に各会計歳入歳出予算について、起立により採決を行い、起立多数でいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

令和2年度一般会計当初予算の内訳



構成比では、「合計の率」がその内訳となる「それぞれの率の合計値」と一致しない場合があります。

する各会派の賛否

立憲民主党新風会

賛成

- ◆防災拠点への蓄電池の配備等、地域防災強化への取り組みを評価。感染症対策を含め、今後も区民の命を守る施策を。
- ◆「グリーンインフラガイドライン」策定等、SDGsに合うまちづくりへの積極的取り組みを高く評価。
- ◆多様化する国際都市中央区として、環境や人にやさしい道路の整備や、受動喫煙防止対策等のさらなる充実を。

中央区議会新青会

賛成

- ◆人口増等の行政需要に対する積極的施策展開のため、子育てや教育環境の充実・東京2020大会成功とその後の魅力づくり・環境に配慮したまちづくりに重点を置いたことに評価。
- ◆今後も健全なる持続可能な財政運営確保への努力を。

あたらしい中央

賛成

- ◆新型コロナウイルス拡大防止と併せ、子供の安全を確保し、オンライン授業に対応するためのICT教育環境整備を。
- ◆行政事務のオンライン化、オンライン診療やテレワークの推進など、最先端技術の動向を注視した一層の取り組みを。
- ◆ほっとプラザはるみの改修をはじめとするまちづくり計画において、住民および利用者の意見を最大限尊重すること。

維新の会

賛成

- ◆力強い人口増加により、特別区民税の増収は期待できるが、多様化し拡大する行政需要に対し積極的に取り組むべき。
- ◆豊かで活力ある社会を目指して、行政の無駄を省き、スピーディに実行、未来への構想へ挑み続けることを期待。

議案等の 審議結果



中央区議会自由民主党議員団…自由民主党
 中央区議会公明党…公明党
 立憲民主党新風会…新風会
 あたらしい中央…あたらしい中央
 日本共産党中央区議会議員団…日本共産党
 無所属…無所属

子どもを守る会…子どもを守る会
 中央区民クラブ…区民クラブ
 中央区議会新青会…新青会
 維新の会…維新の会
 中央未来会議…未来会議

(賛成：○ 反対：× 退席：-)

議案名	説明	自由民主党	公明党	新風会	あたらしい中央	日本共産党	無所属	子どもを守る会	区民クラブ	新青会	維新の会	未来会議	議決結果
○区長提出議案													
令和2年度中央区一般会計予算	予算審査の内容は6面・7面を参照	○	○	○	○	×	○	-	○	○	○	○	原案可決
令和2年度中央区国民健康保険事業会計予算		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
令和2年度中央区介護保険事業会計予算		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
令和2年度中央区後期高齢者医療会計予算		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
令和元年度中央区一般会計補正予算	10億5,953万5千円の減額 総額 1,027億8,194万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
令和元年度中央区国民健康保険事業会計補正予算	586万7千円の追加 総額 131億1,177万1千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
令和元年度中央区介護保険事業会計補正予算	1,193万3千円の減額 総額 87億2,593万5千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
令和元年度中央区後期高齢者医療会計補正予算	8,668万9千円の追加 総額 29億763万1千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例	区長等の損害賠償責任の一部の免責に関し必要な事項を定める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
公益的法人等への中央区職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	職員を派遣することができる公益的法人等に一般社団法人中央区観光協会及び公益社団法人中央区シルバー人材センターを追加する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
昭和天皇の崩御に伴う中央区職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例を廃止する条例	所期の目的を達成したことに伴い、職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関し必要な事項を定めた条例を廃止する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	特殊勤務手当の支給対象に児童相談所の業務に従事する職員を追加する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区首都高速道路地下化等都市基盤整備基金条例	首都高速道路日本橋区間の地下化及びその周辺のまちづくり並びにこれらに関連する都市基盤の整備等に要する資金を積み立てる目的で、新たに基金を設置する。	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区事務手数料条例の一部を改正する条例	複数の建築物の連携による申請建築物の建築物エネルギー消費性能向上計画の認定申請に対する審査に係る事務手数料の算定方法の追加等をするともに、個人番号を通知する通知カードの再交付に係る事務手数料を廃止するほか、規定を整備する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区印鑑条例の一部を改正する条例	印鑑の登録資格の変更等をするほか、規定を整備する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	特定地域型保育事業について連携施設の確保をしないことができる経過措置の期間の延長等をするほか、規定を整備する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	放課後児童支援員となるために必要な研修の実施者を追加するとともに、放課後児童支援員の基礎資格を有する者の追加等をする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	連携施設の確保をしないことができる経過措置の期間の延長等をするほか、規定を整備する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区立公衆便所条例の一部を改正する条例	新たに区立豊海運動公園内公衆便所を設置する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	東京都市計画日本橋・東京駅前地区地区計画の変更に伴い当該地区計画の区域内における建築物の建築の限界に関する制限を定めるとともに、東京都市計画晴海地区地区計画の区域内に新たな地区整備計画が追加されたことに伴い当該地区整備計画の区域内における建築物の用途、構造及び敷地に関する制限を定めるほか、規定を整備する。	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区立住宅条例等の一部を改正する条例	連帯保証人を確保できないことにより住宅に困窮することがないように、区立住宅、一般型借上住宅、仮住宅等に係る連帯保証人を廃止する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区営住宅条例の一部を改正する条例	連帯保証人を確保できないことにより住宅に困窮することがないように、連帯保証人を廃止するとともに、不正に入居した者に対し明渡しの請求を行ったときに徴収する金銭の利息に係る利率を変更する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区立幼稚園の入園料、保育料等に関する条例の一部を改正する条例	令和2年度における夏季休業日の変更されることに伴い、令和2年8月分の登録利用に係る預かり保育料の月額を変更する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区立図書館設置条例の一部を改正する条例	区立図書館の指定管理者の指定の手續等に関する事項を定めるほか、規定を整備する。	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	原案可決
中央区監査委員条例の一部を改正する条例	地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴い、規定を整備する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
新島橋架替工事(第四期)請負契約の一部変更について	契約金額 変更前 18億2,602万5,900円 変更後 18億2,489万6,200円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
指定管理者の指定について(中央区立特別養護老人ホームマイホーム新川及び中央区立高齢者在宅サービスセンターマイホーム新川)	指定管理者 社会福祉法人賛育会 指定の期間 令和3年4月1日から令和13年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
指定管理者の指定について(中央区立日本橋高齢者在宅サービスセンター)	指定管理者 社会福祉法人長岡福祉協会 指定の期間 令和3年4月1日から令和13年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約	地方自治法第291条の11の規定に基づく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
特別区道の路線の認定及び廃止について	晴海四丁目施設の整備等に伴い、特別区道の路線を認定し、及び廃止する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区国民健康保険条例の一部を改正する条例	保険料率、賦課限度額及び均等割額から減額する額の改定等をする。	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
中央区教育委員会委員の任命同意について	伊東佳子氏の任命に同意する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
○議員提出議案													
「小児がん等「特別な理由」で予防接種の再接種が必要な子どもに対する接種費用を助成する制度の確立を求める意見書」の提出について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
「新型コロナウイルス感染症への対策を求める意見書」の提出について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
○その他													
人権擁護委員の候補者の推薦について	小澤哲郎氏、高畠希之氏の推薦に同意する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意

意見書の要旨

今定例会で可決した意見書は次のとおりです。なお、全文については、ホームページに掲載しています。

小児がん等「特別な理由」で予防接種の再接種が必要な子どもに対する接種費用を助成する制度の確立を求める意見書

中央区議会は国会及び政府に対し、次の事項に対して早急に取り組むことを強く求めます。

一 骨髄移植等により定期に実施された予防接種の再接種が必要となった場合、当該再接種を定期接種として位置付ける等の制度を確立すること。〔ほか1項目〕

〔提出先〕衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣

新型コロナウイルス感染症への対策を求める意見書

中央区議会は、総意をもって、政府に対し早急に次の事項を実現するよう、強く要望します。

一 PCR検査体制の更なる拡充及び重症化させないための医療提供体制の充実

二 検査キット、ワクチンや治療薬の早期開発

〔ほか7項目〕

〔提出先〕内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、文部科学大臣